

事業番号	14 08 06	事業改善シート（26年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	学校・家庭・地域全体で取り組む食育推進事業費			担当課	部局	教育委員会	
総合5か年計画	プロジェクト	4-1-1 健康づくり・医療充実プロジェクト			課・室	保健厚生課	
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実			E-mail	hokenko@pref.nagano.jp	
		3 豊かな心と健やかな身体の育成			実施期間	H19 ~	

1 事業の概要

目指す姿	児童生徒に食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせ、心身ともに健全な発達を促ため、学校における食育推進の中核となる栄養教諭の配置を進めるとともに、研修等を実施して資質の向上を図ることにより、学校教育活動全体で食育を推進する基盤づくりを進める。
------	--

現状（予算編成時）	<ul style="list-style-type: none"> ○食生活の現状 ・朝食を欠食する児童生徒が1割程度おり、学年が上がると増える傾向 ・朝食において野菜等が不足するなど、栄養バランスが不十分な児童生徒が過半数 ○食に関する健康課題 ・中学生では約8%、小学生では約7%が肥満傾向。中学生女子は約3%がやせ傾向
-----------	--

県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】
	県民との協働による実施：実施は困難	<ul style="list-style-type: none"> ・食育基本法、学校給食法、第2次長野県食育推進計画 ・栄養教諭(県費負担)の配置拡充や研修の実施は県でなければ実施不可。 ・学校における食育推進は、本県の未来を担う人づくりに必要不可欠であり、県が主体的に取り組む必要がある。

成果目標・事業内容	① 成果目標(H26)			
	<ul style="list-style-type: none"> ○毎日朝食を食べる児童生徒の割合を現状より高い数値に改善する。(H25:小6 91.1%、中3 86.4%) ※朝食をきちんと食べることは、早寝早起きなどの基本的な生活習慣の確立につながりやすいこと等から、朝食摂取率を食育の目標に設定。 			

成果目標・事業内容	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H26事業実績		H27(当初)	
			H26(当初)	H26(決算)		
	学校における食育推進体制の充実	直接	・栄養教諭研修の実施(新任者6回、現任者2回) ・国主催研修会3人派遣、全国大会2人派遣	905	970	957
	家庭・地域への働きかけ	直接	・「朝ごはんを食べよう、いっしょに食べよう」食育キャンペーンの実施(ゼロ予算) ・第9回食育推進全国大会への参画	444	377	0
合計			1,349	1,347	957	

事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越				
	当初予算	734	574	1,349	957
	補正予算				
	合計(A)	734	574	1,349	957
	一般財源	734	574	1,349	957
	Aの財源				
	県債				
	国庫支出金				
	その他	0	0	0	0
決算額(B)	733	558	1,347		
概算人件費					
職員数(人)	0.25	0.30	0.30	0.30	
概算人件費(C)	2,065	2,477	2,477	2,477	
概算事業費(B(A)+C)	2,798	3,035	3,824	3,434	

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		目標	成果	達成状況	
毎日朝食を食べる児童生徒の割合	小6 91.1% 中3 86.4%	小6 91.9% 中3 86.5%	小6 90.9% 中3 86.0%	未達成	小6 92.2% 中3 86.2%

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「毎日朝食を食べる児童生徒の割合」は、平成18年度の調査に比べ小6で5.4%、中3で3.4%増加したが、約1割の児童生徒は依然として朝食を食べない日がある。 ・早寝・早起きの児童生徒は朝食の欠食が少ないことから、子どもだけでなく、保護者も含め、生活のリズムを整えることや朝食をしっかり食べることの重要性の啓発により一層取り組んでいく必要がある。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	子どもたちの食生活は依然として改善が必要な状況にあるため、今後もより多くの児童生徒が栄養教諭の専門性を活かした食に関する指導を受けられるよう、引き続き栄養教諭の配置を進めるとともに研修を実施して資質の向上を図るなど、学校教育活動全体での食育を推進していく。